  
[くりっピー]

第2号

八千代市国際交流協会の楽しいイベントや活動情報満載のc l i pです。  
第2号は、国際交流協会設立イベント”八千代で世界と出会おう”、  
”姉妹都市タイラーとの交流”、”日本語指導ボランティア特集”です。  
4つの部会で御一緒に活動してみませんか？八千代市国際交流協会は、  
楽しい仲間達でいっぱいです。



# 八千代で世界と出会おう

Let's meet the world in Yachiyo!

八千代市国際交流協会設立記念イベント”八千代で世界と出会おう”が平成18年10月14日(土)に村上のフルルガーデン噴水広場で開催されました。

手作りのイベントで、設営、展示ブース、ステージ司会等、老いも若きも顔に汗し、ステージのハワイアン、アンクルンの演奏、ラテンに酔いしれ、最後の全員合唱”上を向いて歩こう”で大感動のフィナーレとなりました。

八千代市発”世界市民”を目指し、YIA (Yachiyo International Association) は更に成長してまいります。



●語学ボランティア部会●



●日本語指導ボランティア部会●



●国際姉妹都市部会●



●本部●

展示ブースでは、各部会の紹介を行いました。

語学ボランティア部会には、英語、韓国語、中国語、スペイン語、ポルトガル語、ポーランド語が堪能な人たちが38人います。アメリカ合衆国タイラー市との姉妹都市交流や防災・検診などへの翻訳・通訳協力を行っています。また、部会内の親睦をかねて語学研修会や研修旅行を定期的の実施しています。

日本語ボランティア部会では、村上公民館・八千代台東南公共センター・阿蘇公民館の7教室で、外国人の皆さんの日本語学習のお手伝いをしています。国際姉妹都市部会では、タイラー市との交流事業を行っています。今までに八千代市からは延べ177人がタイラー市を訪問し、ローズフェスティバル等に参加しました。タイラー市からは、延べ199人が八千代市を訪れ、友好の輪を広げています。

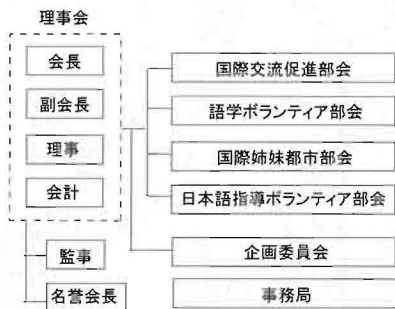
## 会員募集

- 年会費 個人：2,000円  
家族：3,000円  
学生：1,000円  
サークル：10,000円

### ●入会方法

- ①会費を持参して、直接事務局で入会手続きをする。
- ②氏名・住所・Tel・Fax・希望する部会を事務局に郵送し、口座に会費を振り込む。  
(千葉銀行大和田支店035-3324645 八千代市国際交流協会 会長 周郷紀男 (スゴウミチオ) のいずれかをお願いします。

- 詳しくは 事務局(八千代市役所 国際推進室内 047-483-1151)までお問合せください。



## 周郷会長が八千代市から表彰されました



昨年の11月23日、当協会の周郷紀男会長が、長年にわたりアメリカ合衆国タイラー市との国際姉妹都市交流に尽力したとして、八千代市から表彰(教育文化功労)されました。

会長は、平成4年8月に行われた八千代市での姉妹都市提携調印の時から交流業務に従事。以降、団長として4回タイラー市を訪問。また、平成10年からは八千代国際姉妹都市委員会会長としてタイラー市訪問団を5回受け入れするなど14年間の活動が評価され、表彰されたものです。

おめでとうございます。

# 八千代で世界と出会おう

Let's meet the world in Yachiyo!

八千代市国際交流協会設立記念イベント”八千代で世界と出会おう”が平成18年10月14日(土)に村上のフルルガーデン噴水広場で開催されました。

手作りのイベントで、設営、展示ブース、ステージ司会等、老いも若きも顔に汗し、ステージのハワイアン、アンクルンの演奏、ラテンに酔いしれ、最後の全員合唱”上を向いて歩こう”で大感動のフィナーレとなりました。

八千代市発”世界市民”を目指し、YIA (Yachiyo International Association) は更に成長してまいります。



オープニングを飾ったロックソーラン「翼」  
八千代台東で活動している、ロックソーランチーム「翼」の皆さんの迫力ある演技でした。



ハワイアンミュージックの「パーリーゲートボーイズ」  
本格的なハワイアンミュージックとフラダンス。会場はいっきに南国ムードいっぱいになりました。



「インドネシアソサエティ」によるアンクルンの演奏  
美しい音色に思わずうっとり。観客も飛び入り参加させていただきました。



陽気で楽しい「ラテン バリエダ」の皆さん  
イベントの締めにあふさわしい、明るいラテン音楽にみんなノリノリ。会場からは手拍子も。



▲ウーマンビルディングで地元高校生の出迎えを受ける訪問団

# 国際姉妹

4年前八千代市国際姉妹都市委員会に夫婦で参加した後、3年前タイラー親善訪問団受入実行委員会へのお誘いを受け、ベテランの方々に交じって新前ながら、お手伝いすることにしたのは、一度はタイラー市に親善訪問団として、行きたいと考えたためです。今回の募集を知って、早速参加を申し込みました。私にとっては4年前から懸案の外国人との親しく接する海外旅行の実現となりました。私にとって、テキサスは西部劇の舞台、ジェームス・ディーンの最後の主演作「ジャイアンツ」の舞台、故J.F.ケネディ大統領の暗殺の程度程度の知識しか持ち合わせていませんでした。

ダラスに着き、翌日バスでタイラー市に向かった車窓に広がる果てしなく広大で肥沃な牧場は、世界のどこにもない豊かな風景でした。タイラー市に着くと、人口8万人の地方都市とは考えられない広い都市地域と重厚な建造物に驚かされました。流石に世界最高レベルの牧畜業と石油産業に裏打ちされた経済力によるものと思い知らされました。

我々のバスが市庁舎に着き、八千代少年少女合唱団一行と合流し、市庁舎に入るまで、タイラー市の皆さんが大勢満面の笑みと握手で一人一人迎えてくれました。タイラー市政は選挙で選ばれた市長と7人の市議会議員で運営されており、全員無給とのことでした。また、市職員はシティ・マネジャーの下に組織されているとのことでした。

タイラーの街の家々は敷地も広く、その建物の多くは平屋で広く、満開の花みずきとツツジに囲まれて緑

昨年3月、姉妹都市部会の人たち15人がアメリカ合衆国テキサス州タイラー市を訪問しました。行った方からは素晴らしい出会いと体験があったことが伝えられております。今日は、この親善訪問団に参加した進士豊夫さん（大和田新田）の感想をご紹介します。

# 都市タイラー市との交流

豊かな、木立の高い素晴らしい景観でした。我が八千代市がこの域に達するのは、いつのことかと羨望を禁じませんでした。

今回の親善訪問団は10年ぶりにタイラー市を訪れる八千代少年少女合唱団の同行でしたが、合唱団の成果は良き指導者と日ごろの練習の賜物で、言葉の壁を越え、両市の親善の実を挙げたのみならず、生涯忘れがたい良き思い出を胸に刻んだことだと思います。更に合唱団の企画で子供たちが各々テキサスの州旗ローン・スターを胸にリズムをとりながら、英語の歌を合唱したとき、観客の感動は最高潮に達しました。子供たちも国旗の正しい扱い方を実践できて本当に良かったと思います。

タイラー市の人たちは、初めて会った人にも心優しく親切で、二度目に会った人とは知己のように扱って

くれ、本当のホスピタリティを示してくれました。本年6月もこの感動を忘れず、タイラー市からのお客様もおもてなしたいものです。

▼一緒に訪問した八千代少年少女合唱団



## ●日程表

月日	旅程内容
3/26 (日)	16:00 成田空港集合。通関後アメリカン航空でダラス・フォートワース空港へ
3/27 (月)	10:00 タイラー市長表敬訪問 11:45 シーパー市長と警察署で昼食 18:00 ウェルカムパーティー
3/28 (火)	9:30 市内観光(ローズガーデン・グッドマン博物館など) 12:30 ウーマンビルディングにて昼食 13:30 ティルゴア石油博物館見学 19:30 夕食会
3/29 (水)	10:00 ショッピング 16:30 TJC美術館見学(軽食) 19:00 八千代少年少女合唱団とTJCハーモニー&アンダスタンディングとジョイントコンサート 21:30 サンキューパーティー
3/30 (木)	9:15 グッドウィル工場見学 10:45 サルベーションアーミーへ 13:15 テキサス大学附属医療センターへ 17:30 フェアウェルパーティー
3/31 (金)	12:05 帰国者はアメリカン航空で成田へ 11:45 オプショナルツアー参加者は国内線でロサンゼルスへ
4/3 (月)	16:10 成田空港着。通関手続き後解散

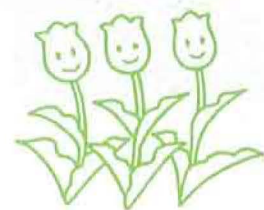
## ■八千代市国際交流協会 平成18年度予算

●収入 単位：円

科	目	金額
1.	会費収入	708,000
2.	補助金	1,600,000
3.	繰越金	96,182
4.	雑収入	818
合計		2,405,000

●支出 単位：円

科	目	金額	摘要		
1. 事業費 1,869,000	1. 設立イベント 500,000	1. 需要費	500,000		
		2. 役務費	100,000	広報紙「cliP」郵送(2回)	
	2. 広報事業費 223,000	1. 需要費	123,000	広報紙「cliP」印刷(2回)	
		2. 役務費	100,000	広報紙「cliP」郵送(2回)	
		3. 部会事業費 1,146,000	1. 部会事業費	1,146,000	姉妹都市部会、日本語指導ボランティア部会、語学ボランティア部会、国際交流推進部会
			4. 人件費	244,800	週3日・6時間・4箇月・時給850円
2. 事務費 463,650	1. 事務費 463,650	1. 需要費	12,750	プリンタインク等消耗品	
		2. 役務費	68,100	総会・理事会開催通知郵送等	
		3. 備品購入費	138,000	パソコンソフト、プリンタ購入	
		4. 人件費	244,800	週3日・6時間・4箇月・時給850円	
3. 予備費 36,168	1. 予備費 36,168	1. 予備費	36,168		
4. 返還金 36,182	1. 返還金 36,182	1. 返還金	36,182	17年度補助金剰余分	
合計			2,405,000		



## ■タイラー市から親善訪問団が来日します

6月29日(金)から7月2日(月)にかけて姉妹都市である米テキサス州タイラー市から親善訪問団が3年ぶりに八千代市を訪れます。八千代国際交流協会は受け入れ実行委員会を組織して訪問団を歓迎、両市の一層の交流促進を図ります。

タイラー市はテキサス州東部に位置するスミス郡の郡庁所在地の都市です。面積は106.2平方キロメートル(八千代市の約2倍)、人口は約87,000人(八千代市の約半分)です。市制施行は1846年。市の名前はアメリカ第10代大統領ジョン・タイラー(1790年~1862年)にちなんで名づけられました。「バラの都」と呼ばれるようにバラ栽培が盛んで全米でも有数の生産量を誇ります。1933年に始められた「ローズフェスティバル」は、タイラー市の最も重要な年中行事の一つです。

今年はちょうど提携15周年記念の節目。訪問団受け入れについて、実行委員会はパーティーや日本文化体験などを企画しています。会員のみならず市民の皆さんと訪問団の皆さんとが交流できるような場も考えていますのでどうぞご期待ください。



▶前回の受け入れ

《紹介》日本語指導ボランティア

# 担いたい国際交流の一環を

現在25人の日本語指導ボランティア。試行錯誤と苦勞の連続で今日までやってきました。今日お届けするのは、村上月曜会代表の美川さんにこれまでの会の歴史や様子などをまとめてもらいました。なお、現在教室を開いているのは村上公民館、八千代台東南公共センター、阿蘇公民館です。その英文地図を下に載せてあります。



●美川 克子さん

## 最初は見切り発車

一面真っ白な銀世界。雪に足を取られないように慎重に一步一步歩く。足を進めながら、長いようで一瞬のように感じられるこの15年間を振り返ると、大勢の心底からボランティア精神で講師を務めてくださった講師の方々の顔と、無我夢中で試行錯誤しながら日本語を教えてきたことが走馬灯のように浮かんで消えていきます。

海外で得た大きな心の深いボランティア精神を消滅しないうちに、身近なところで役に立てようと始めたのが1992年9月、見切り発車にて開放した生活日本語の教室です。最初は市の担当者に何度も当たってはみましたが、机上で考えているばかりで前進がなく、月日が過ぎるばかり。思い切り何も無い原野に小さい一両のみの車両=教室を置きました。レールなき状況に悪戦苦闘の日々でした。勝田台駅での雑踏の中で知り合った南米系の生徒たちや中南米系の食料品店に依頼したポスターから日本語に興味を持っている生徒たち2~3人への授業でした。場所として公民館やスーパーなどを利用しました。ここでは、回りに気を使い

ながらのスタートでした。やはり静かではなく、無理なので、市役所に見切り発車の教室の実情を訴え、空いていたのが村上公民館の月曜日でした。教材は千葉県内での生徒たちの移動も考え、県内で使用している教科書に決め、日本語教室の現状を前もって把握し、同じ志で一緒に加わってくれた他の二人と分け合い、教えてきました。

## 苦心したコーヒータイム

少しずつ進行するうち、生徒たちの状況や、それぞれが受けてきた教育の実態から、都心で教えてきた生徒たちとかなりの差があることと、私たちのボランティア精神での生活日本語教室への概念に担当者たちからの見解（長くは続かないだろう…）などにギャップが出てきました。しかし、始めたからには、責任を持って例え少人数で、生活日本語でもあっても、その都度生徒たちにあったカリキュラムを作成し、教室へと出向きました。

お国柄と言えればそれで済みますが、夜間シフトのお弁当工場で働き、一度朝方アパートに戻り、仮眠を取り教室へ出向く生徒たち電話もなく、無断で授業を休

むことが多々ありました。何度も用意した授業準備が徒勞に終わりましたが、気を取り直し、次週に希望を託したりしました。そのころから目を覚まし、少しリラックスしてもらうために11時から15分間、コーヒーとお菓子を提供することとしました。そのうち生徒たちの口コミでこの無料で日本語を教えてもらえる、そしてコーヒーとお菓子がでる教室-恐ろしいほど増えに増えました。そのころでしょうか、半年以



▲概ね一人の講師が二人の受講生を受け持ちます

上経って市内での日本語教室を増やそうと講師になる人を募集し、その後村上公民館の土曜日に日本語教室を開きました。一方、月曜会では生徒たちが増え過ぎ、同国人同志のおしゃべりの場所と化し、勉強どころではなくなり本当に日本語を勉強したい人たちの不平も出始めましたので、思い切って本当に勉強したい人のチケット制に踏み切りました。12回2,000円です。ここから本当に勉強したい人たちの授業が始まりました。

## 疑問が出たチケット制

このボランティアでチケット制は、後から増えたクラスや県内の他の教室からおかしいと何度も言われました。しかし、教科書を購入できない生徒たち、その都度関連の手作り教材のコピー、そしてリラックスしてもらうためのコーヒーなど生徒たちに還元し、今も

その状態がずっと続いています。兄弟や親戚を連れて来ることもたびたびあるので、それらの対応は無料で引き受けています。また、中学生までは同じ条件です。

この繰り返しを何年もしているうちに、原野をスタートした一両の列車に後続の6両が連結されました。つまり、7教室に増えたのです。ただ言えることは、同じ高い精神でボランティアを始めたときは、どんなに個人として才覚があってもそれを押し通さず、各クラスのリーダーのもと、和を重んじ列車からはみ出し脱線させないよう心がけることがボランティアを長く続けるコツではないでしょうか。

これを踏まえ、これからも市内にやってくるいろいろな国の人々へ基本である言葉=日本語を教え、お互いの理解に役立て国際交流の一環を担いたいと私たち講師は切に願っています。

▼国際色豊かな受講生たち



●MURAKAMI KOMINKAN

Home Center  
Murakami Kominkan  
Shisho  
Bus Stop Murakami Danchi Dai 3  
Bank・Post Office  
Toyo-Kosoku Line Murakami Sta.

《BUS》  
Toyo-Bus ⇒ Katsutadai-Sta-Kitaguchi get on.  
Murakami Danchi Dai 3 get off.

■ Mon. 10:00-12:00	Ms. Mikawa	Tel.482-2074
■ Tue. 19:00-20:30	Ms. Takano	Tel.459-9551
■ Sat. 10:00-12:00	Ms. Kamata	Tel.487-9840

●YACHIYODAI-TONAN KOKYO CENTER

Keisei-Line  
Yachiyodai-Tonan Kokyo Center  
Yachiyodai Sta.  
Bank  
Your ELM  
Bank

《TRAIN》  
Keisei-Line ⇒ Yachiyodai-Sta. get off.

■ Tue. 19:00-20:30	Ms. Saito	Tel.485-5093
■ Wed. 19:30-20:45	Mr. Sato	Tel.483-5148
■ Sat. 10:00-11:45	Ms. Yoshizaki	Tel.483-7442

●ASO KOMINKAN

Michino-Eki  
Bus Stop Yonamoto Danchi  
Aso Kominkan  
Bank  
Shisho  
NR16

《BUS》  
Toyo-Bus ⇒ Katsutadai-Sta-Minamiguchi get on.  
Yonamoto-Danchi get off.

■ Fri. 10:00-12:00	Mr. Takada	Tel.459-8927
--------------------	------------	--------------

# ALTの紹介

〈外国語指導助手〉

姉妹都市交流の一環として、現在4名のALT（外国語指導助手）の方がタイラー市から八千代市に連れて市内の中学校で英語の指導にあたっています。

今日は、平成18年7月に着任されたアマンダ・ブラロックさん（写真上）とミランダ・ヘンドリックスさん（写真下）のお二人にお話を伺いました。

問 ALTに応募された理由を聞かせてください。

アマンダ 元々先生になりたかったんですが、これまで独り暮らしをしたことがなかったので、テキサスを出て広い世界を見てみたかったです。そのときALTの募集記事を見てこれはチャンスだと思いました。

ミランダ 私は異文化に興味があり、特に行ったことのない日本という国を体験してみたかったです。

問 日本あるいは八千代市の第一印象は？

アマンダ きれいな所でフレンドリーな人が多いと思いました。

ミランダ 日本のみなさんはとても細いという印象を受けました。人だけでなくすべてのものが小ぢんまりしているように感じます。テキサスは人でも物でもみんなビッグサイズなので・・・

問 日本の子どもたちとタイラーの子どもたちに違いはありますか？ また、日本の学校で驚いたことなどがありますか？

アマンダ 中学生に教えるのは初めてですが、大きな違いはないように思います。皆チャレンジで可愛いですよ。驚いたのは、アメリカでは先生が学校を選べるのに日本ではそういうシステムがないということでした。

ミランダ 私のいた学校だけかもしれませんが、アメリカの方が校則が厳しいように思いました。日本では生徒を信頼し生徒に責任を持たせている感じがして、とても良いことだと思います。生徒会の選挙の様子を見たんですが、実際の政治における選挙のように選挙運動や演説会をするのに驚きました。

問 日本や八千代市で、これからしてみたいことはありますか？

アマンダ 京都と大阪には行ったのですが、他にもいろいろなところに行ってみみたいです。



●アマンダ・ブラロックさん



●ミランダ・ヘンドリックスさん

ミランダ 私も京都や広島に行ってみみたいです。あと東京ディズニーランドにも！実はアメリカのディズニーランドには行ったことがないんですよ。

問 好きな日本食や食べられないものはありますか？

アマンダ うどんやお好み焼きが好きです。豆腐は鍋物を食べて好きになりました。納豆はまだ食べたことがないので、チャレンジしてみたいと思います。

ミランダ 私はお米が好きなので、カレーライスやカツ丼などのご飯ものが好きです。ピザマンは初めて食べたけど美味しかった。お好み焼きは私も好きですよ。

問 最後になりますが、将来このALTでの経験をどのように生かしていきたいと思えますか？

アマンダ 予想もつかないことが次々と起こるので、とても良い経験です。私は教えることが好きなので、これからも教える仕事に就いて続けていきたいと思っています。

ミランダ 私はもっと日本について学び、理解を深めて、何らかの形で日本とアメリカの橋渡しができるような仕事に就きたいと考えています。

このインタビューは、現在お二人が日本語を勉強されている教室にお邪魔して伺ったものです。ご協力いただいた皆様に感謝申し上げます。

30分ほどの短い時間でしたが、お二人とも好奇心旺盛で、ALTという仕事と日本での生活を楽しんでおられるように見受けられました。

街中でお二人を見かけられたら、ぜひ声を掛けてくださいね。

## 編集後記

これまで長年にわたり、ご愛読いただいた八千代姉妹都市委員会広報紙「PISCC」に変わって、八千代市国際交流協会ニュース「くりっピー」の第2弾が完成した。前回は協会の設立紹介や会長あいさつが内容であったことを考えると今回が実質的には初めての編集作業である。実は、YIAパブリケーションズのメンバーは、協会の企画委員も兼ねているのでとても忙しい中での編集作業であった。メンバーは昨年の協会設立記念イベントの準備やこの編集作業等、本当によくやってくれていると思う。記事については、協会初のイベント「八千代で世界と出会う！」や姉妹都市部会のテキサス州タイラー市訪問と今年度の受け入れ、日本語部会の紹介と共にALTのインタビューを載せて頂いた。ALTのインタビューはとても楽しいものであったことを付け加えておきたい。今後とも他のイベントや作業を抱えた中での編集になると思うが、さらにこの「くりっピー」の編集を充実させるべく努力していきたいと考えている。（山口）

c l i P [くりっピー] 第2号 2007年3月25日発行  
企画委員会YIAパブリケーションズ

【事務局】 〒276-8501 千葉県八千代市大和田新田312-5  
八千代市役所総務企画部国際推進室内 TEL. 047 (483) 1151